

## 別紙

### 大同I77° 04' 00" ・ エレクトロニクス株式会社広島ガスセンター温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

##### (1) 事業所の名称

大同I77° 04' 00" ・ エレクトロニクス株式会社広島ガスセンター

##### (2) 事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地5679-1

##### (3) 業種

圧縮・液化ガス製造業 (3411)

#### 2 計画の期間

本計画の期間は平成21年度（2009年度）を基準年度とし、平成22年度（2010年度）から平成26年度（2014年度）までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成 年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：窒素発生量 (百万Sm<sup>3</sup>)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成21年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成26年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成22年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	171.6	163.0 5.0	162.0 5.6	182.0 ▲6.1			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量	171.6	163.0 5.0	162.0 5.6	182.0 ▲6.1			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	63.560		64.546 ▲1.6	62.446 1.8			
実績に対する自己評価	2011年度が2009年度、2010年度と比較して炭酸ガス原単位が高くなっているのは、電力会社における炭酸ガス排出係数が0.000628 (2010年度) から0.000728 (2011年度) に上がっているためである。エネルギー原単位は今年度は良化している。						

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	エネルギー原単位の削減	2009年度比1.75%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷暖房温度の適正管理</li> <li>・ 休憩時間の消灯の徹底</li> <li>・ 事務機器の随時節電</li> <li>・ 原空ドラムフィルターの交換(1回/年)</li> <li>・ CTファンベルト増張、交換</li> <li>・ 自社生産の液体窒素活用によるエネルギー原単位の削減</li> </ul>
2	燃料使用量の削減	定期修理における予備OSPによる窒素バックアップ量の低減 ローリー台数201台減 約21tのCO2排出減	自社生産の液体窒素の活用 ① OSP寒冷液の活用によるローリー走行距離の低減 ② 定期修理時において予備OSP起動による液体窒素の節減によるローリー走行距離の低減
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	ガスタンク-清掃活動	月1回清掃活動実施	月1回清掃活動
2	環境ISO事業所拡大	環境ISOマネジメントプログラムの定着化	環境ISOに関するMPの作成、実行等
3	廃棄物排出量削減(コピー用紙裏面活用等)		コピー用紙削減量年間1%削減

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。